

インフルエンザ週報 2015年 第18週 (4月27日～5月3日)

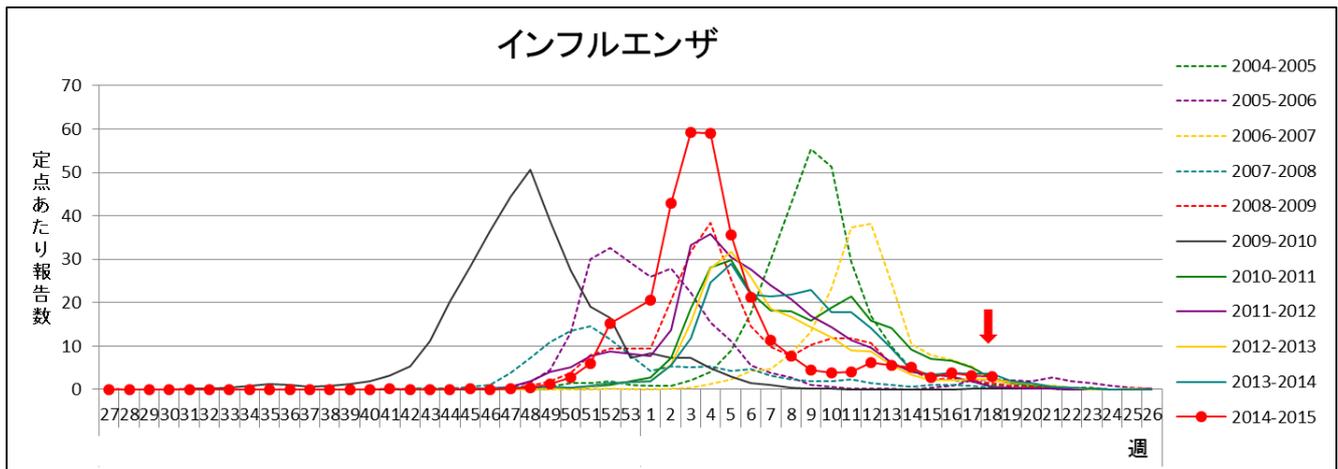
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で243名（定点あたり3.19 → 2.89人）の報告があり、前週よりわずかに減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が7施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。

【第19週 速報】

- 真庭市内の小学校1校で、インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業がありました（5月7日）。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で243名（定点あたり3.19 → 2.89人）の報告があり、前週よりわずかに減少しました（84定点医療機関報告）。

地域別では、真庭地域（3.00 → 6.00人）で、定点あたり報告数が前週より大きく増加しました。真庭地域（6.00人）、倉敷市（5.19人）、備中地域（3.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

流行のピークは過ぎて患者は減少してきているものの、依然として小学校の学年閉鎖も報告されており、患者の発生は続いています。流行はまだしばらく続くと思われ、岡山県は引き続き「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図っています。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。

◆インフルエンザは依然として流行しています。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周囲の人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

| 地域名 | 発生状況 | | 推移 | 地域名 | 発生状況 | | 推移 |
|-------|-------|------|----|-----|-------|------|----|
| 岡山県全体 | 患者数 | 243 | ↓ | 備 中 | 患者数 | 42 | ↓ |
| | 定点あたり | 2.89 | | | 定点あたり | 3.50 | |
| 岡山市 | 患者数 | 39 | ↓ | 備 北 | 患者数 | 20 | ↓ |
| | 定点あたり | 1.77 | | | 定点あたり | 3.33 | |
| 倉敷市 | 患者数 | 83 | ↑ | 真 庭 | 患者数 | 18 | ↑ |
| | 定点あたり | 5.19 | | | 定点あたり | 6.00 | |
| 備 前 | 患者数 | 29 | ↓ | 美 作 | 患者数 | 12 | ↓ |
| | 定点あたり | 1.93 | | | 定点あたり | 1.20 | |

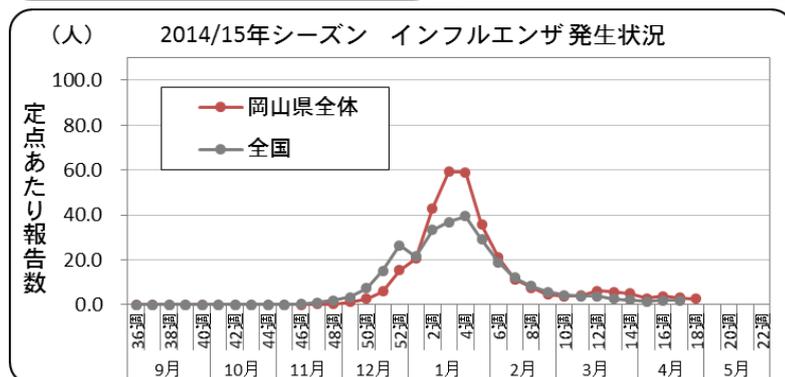
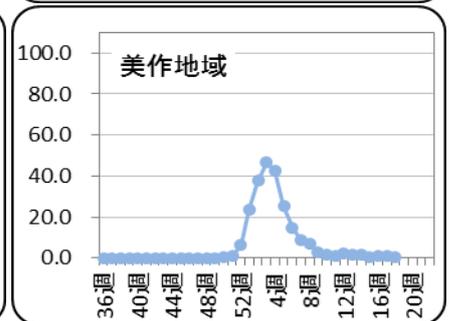
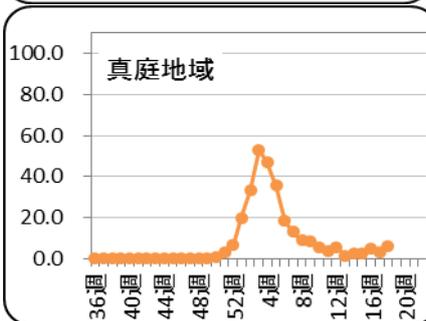
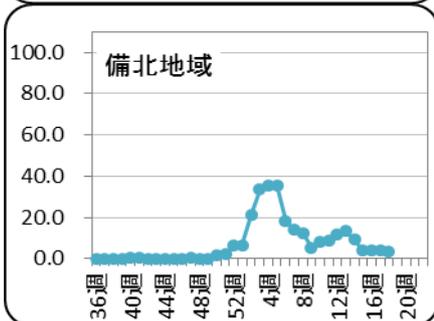
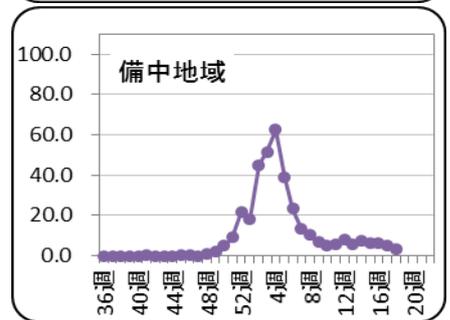
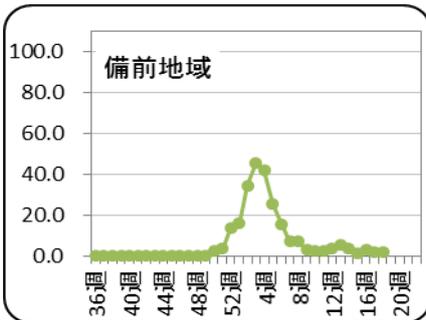
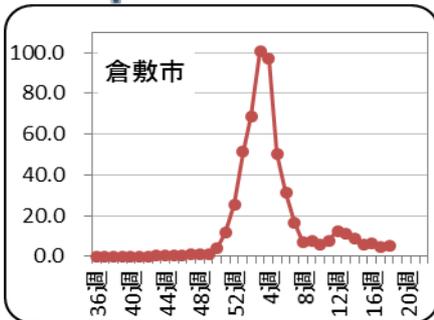
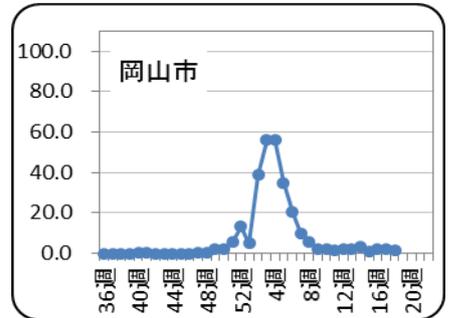
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 →
 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

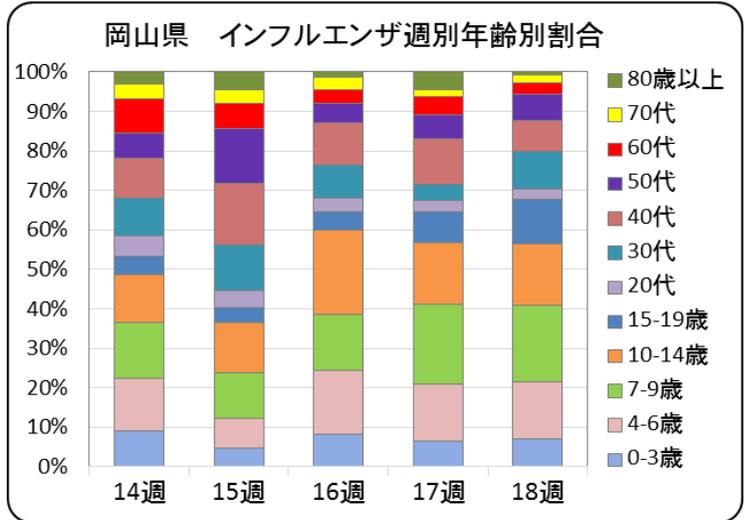
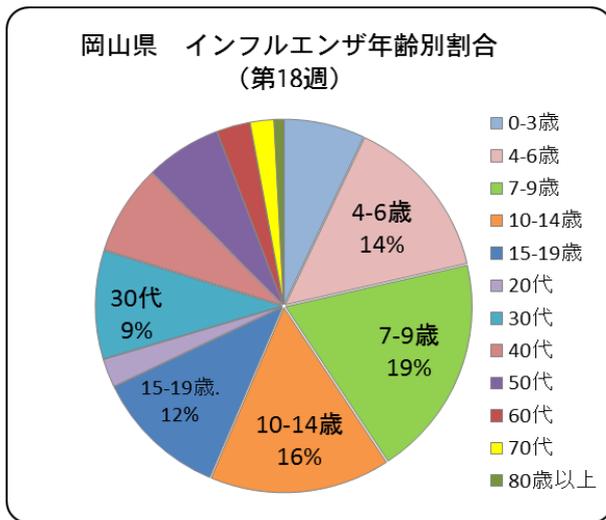
| レベル3 | | レベル2 |
|-----------|-------|--------------|
| 開始基準値 | 終息基準値 | 基準値 |
| 30 | 10 | 10以上 30未満 |
| レベル1 | | 報告なし |
| 基準値 | | 基準値 |
| 0 10未満 | | 0 |



全国の第17週（4/20～4/26）集計によると、全国の定点あたり報告数は2.02人であり、前週（2.06人）よりわずかに減少しました。都道府県別では、沖縄県（7.88人）、山形県（5.65人）、岩手県（4.06人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、26都道府県で前週よりも減少しました。

2. 年齢別発生状況

第18週の年齢別割合は、高い順に7-9歳 19%、10-14歳 16%、4-6歳 14%となっています。15-19歳及び30代の割合が、前週より増加しました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

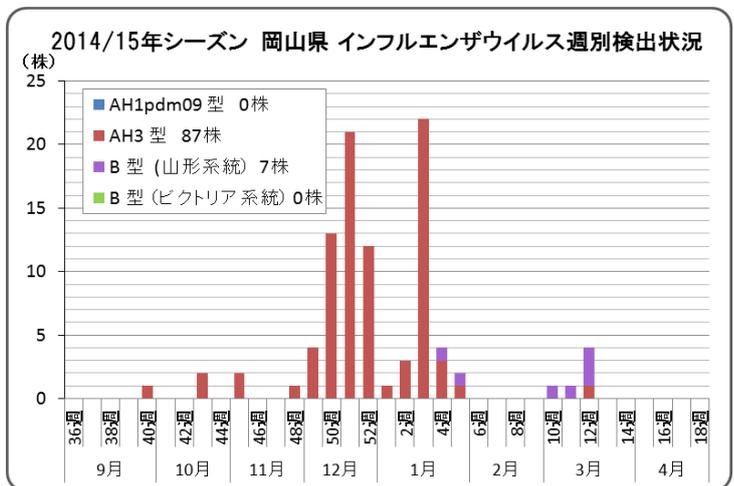
第18週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が2株でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が87株(93%)、B型が7株(7%)となっています。

岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況

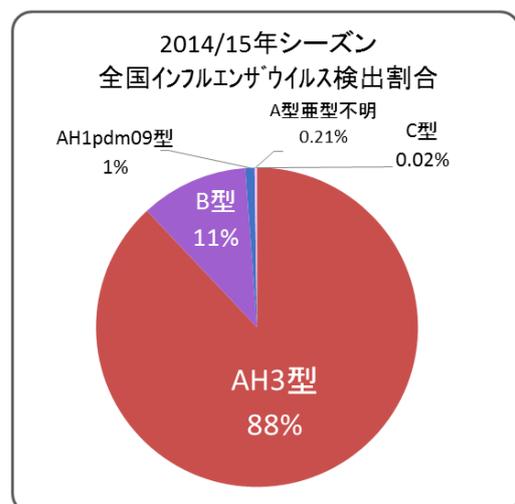
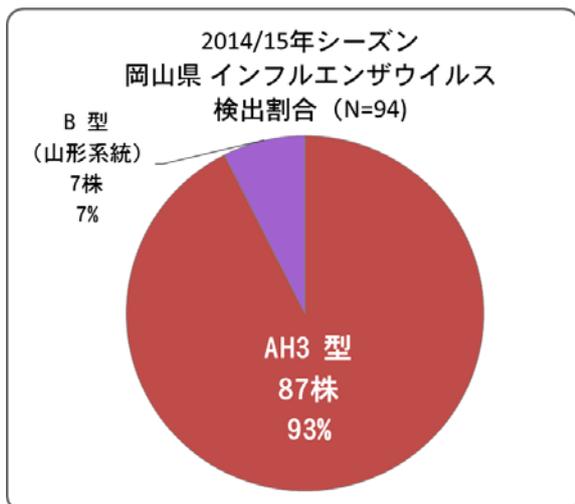
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も高く88%、次いでB型が11%、AH1pdm09型が1%の順となっています。しかし、最近5週間(第13週~17週)の検出割合は、B型、AH3型の順に高くなっています。(2015年5月11日現在)

インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立感染症研究所)

【第18週 判明分】



| ウイルス名 | 検体採取週 | 検体採取日 | 地域 | 年齢 | 性別 |
|-----------------|--------------------|-----------|----|-----|----|
| インフルエンザウイルスAH3型 | 2015年第2週(1/5~1/11) | 2015/1/10 | 備中 | 小学生 | 女 |
| インフルエンザウイルスAH3型 | 2015年第2週(1/5~1/11) | 2015/1/10 | 備中 | 小学生 | 男 |

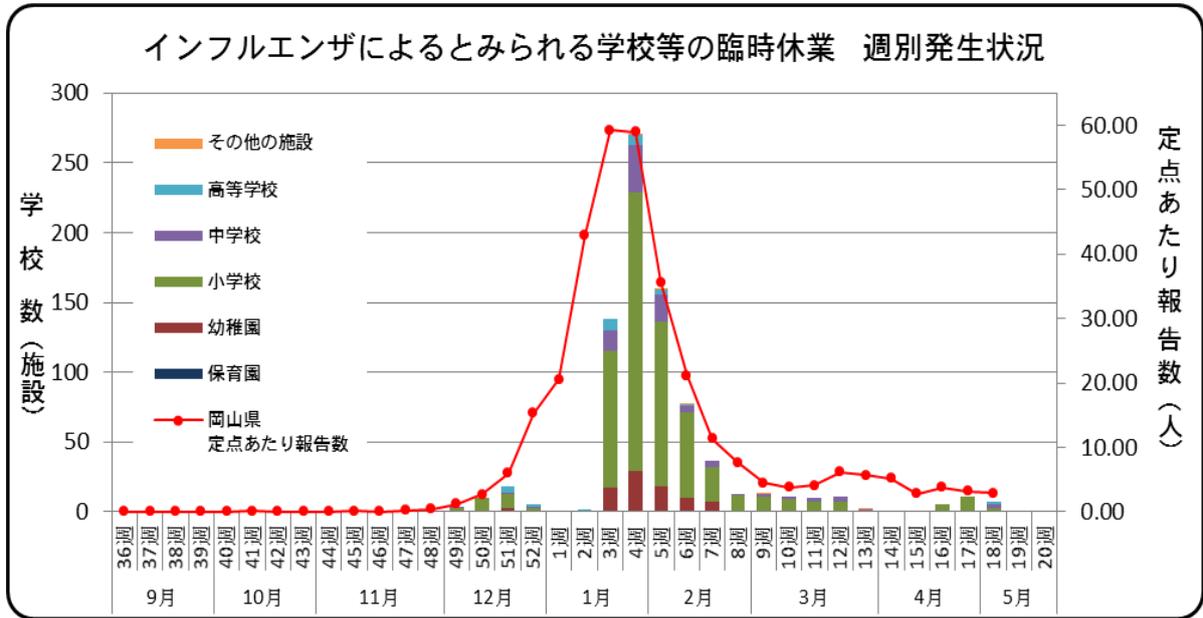


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が7施設でありました。

【第18週 臨時休業施設数】

▽岡山市 2 ▽真庭市 2 ▽倉敷市 1 ▽玉野市 1 ▽高梁市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

| 地域名* | 有症者数 | | うち欠席者数 | | 施設数合計 | | 休園・休校数 | | 学年閉鎖施設数 | | 学級閉鎖施設数 | | 初発年月日 |
|--------------|------------|--------------|-----------|-------------|----------|------------|----------|-----------|----------|------------|----------|------------|------------------|
| | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | |
| 岡山県全体 | 112 | 12723 | 86 | 9908 | 7 | 810 | 1 | 18 | 2 | 207 | 4 | 585 | H26.10.21 |
| 岡山市 | 65 | 5160 | 47 | 3855 | 2 | 304 | 0 | 2 | 1 | 43 | 1 | 259 | H26.12.1 |
| 倉敷市 | 12 | 3035 | 7 | 2478 | 1 | 167 | 0 | 3 | 0 | 26 | 1 | 138 | H26.10.21 |
| 備前地域 | 11 | 798 | 11 | 673 | 1 | 67 | — | — | 0 | 25 | 1 | 42 | H26.12.9 |
| 備中地域 | 3 | 1653 | 3 | 1321 | 1 | 134 | 0 | 5 | 1 | 55 | 0 | 74 | H26.12.8 |
| 備北地域 | 0 | 351 | 0 | 196 | 0 | 14 | 0 | 1 | 0 | 7 | 0 | 6 | H27.1.16 |
| 真庭地域 | 31 | 302 | 18 | 236 | 2 | 25 | 1 | 3 | 0 | 13 | 1 | 9 | H26.12.16 |
| 美作地域 | 0 | 1424 | 0 | 1149 | 0 | 99 | 0 | 4 | 0 | 38 | 0 | 57 | H27.1.13 |

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第18週：7施設

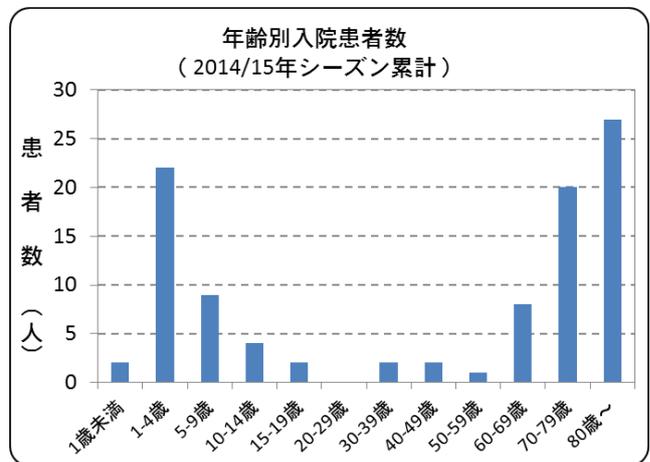
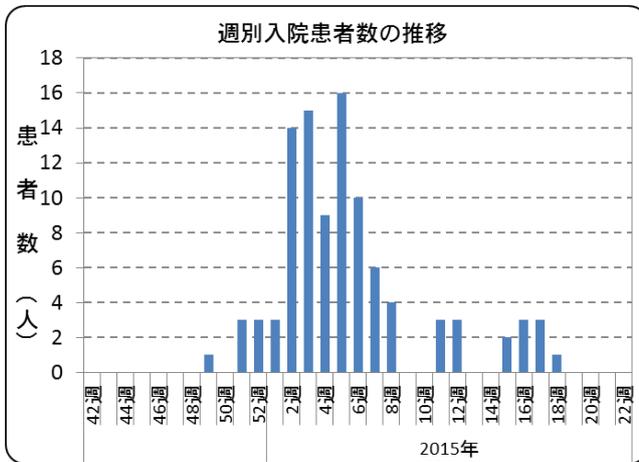
累計：810施設

| | 保育所 | | 幼稚園 | | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校 | | その他 | |
|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|------|----|-----|----|
| | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 | 今週 | 累計 |
| 施設数 | — | — | 0 | 86 | 3 | 595 | 2 | 97 | 2 | 27 | 0 | 5 |

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1 名（1-4 歳）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 18 週 入院患者報告数】

| 年齢 | 1歳未満 | 1～4歳 | 5～9歳 | 10～14歳 | 15～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 計* |
|-----------------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 入院患者数 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| ICU入室 | | | | | | | | | | | | | |
| 人工呼吸器の利用 | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部 CT 検査 (予定含) | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部 MRI 検査 (予定含) | | | | | | | | | | | | | |
| 脳波検査 (予定含) | | | | | | | | | | | | | |
| いずれにも該当せず | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |

* 重複あり

【2014 年 9 月 1 日以降に入院した患者の累計数】

| 年齢 | 1歳未満 | 1～4歳 | 5～9歳 | 10～14歳 | 15～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80歳以上 | 計* |
|-----------------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 入院患者数 | 2 | 22 | 9 | 4 | 2 | | 2 | 2 | 1 | 8 | 20 | 27 | 99 |
| ICU入室 | | | | | | | | | | | 3 | | 3 |
| 人工呼吸器の利用 | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部 CT 検査 (予定含) | | 5 | | 1 | | | | | | 2 | 4 | 3 | 15 |
| 頭部 MRI 検査 (予定含) | | 1 | | 1 | | | | | | | 3 | | 5 |
| 脳波検査 (予定含) | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| いずれにも該当せず | 2 | 17 | 9 | 2 | 2 | | 2 | 2 | 1 | 6 | 14 | 24 | 81 |

* 重複あり

